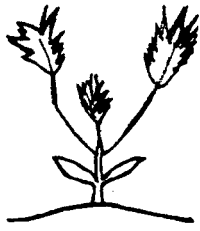


### 3. 間引き

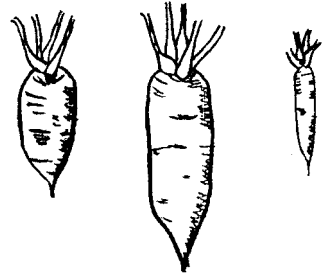


1回目（本葉2～3枚）



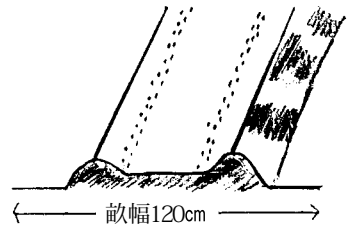
2回目（本葉5～6枚）

### 1. 品種

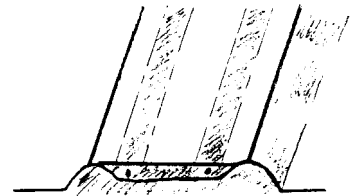


三寸系 五寸系 小型ニンジン

### 2. 種まき



雨の後か、乾燥時には十分かん水してまく

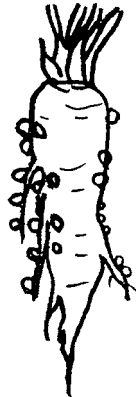


覆土の厚さは5mmぐらい、厚くかけると発芽が悪い。

### 4. 根の障害



裂根は、とり遅れか、かん水不足のときに多い



根にコブがつき、肥大が悪いのはネコブセンチュウの寄生

### 今月の作業

★冬越し野菜の追肥

タマネギ、ニンニク、キヤベツなどの野菜は、化成肥料を一〇㎡当たり五〇〇g条間に施し、中耕・土寄せを行います。

★春夏野菜の種まき

2月中旬、育苗日数の長いナスやトマト、シシトウの種まき適期です。ビニールハウス内に温床を設けてまきます。

★夏野菜の土づくり

野菜を上手につくるにはよい土をつくることです。冬の間に堆肥や有機物、苦土石灰を施して、よく土を耕し、寒風にさらしておく。とよいでしょう。

# 楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場  
伊藤 博紀

## ニンジンを作ろう！

栄養をたっぷり含んだ野菜の代表選手の一つです。体内でビタミンAに変わるカロチンを多量に含んでいますから、食卓に欠かせない野菜です。

### ①栽培のポイント

短形のニンジンにはあまり土質を選びませんが、水はけが悪いと根腐れを起こします。また、ニンジンにはネコブセンチュウに弱いので、根にコブがついたら、同じ畑での連作を避けるか、土壌消毒が必要です。

### ②家庭菜園に適した品種

3寸系(MS三寸、砂村三寸等)は、各種土壌への適応性が広く、とう立ちが遅いので春まきに適しています。その他、秋まきに向く5寸系(黒田5寸、鮮紅5寸等)小型で丸かじり生食用の小型ニンジン(ピッコロ、ベビーキャロット)などがあります。

### ③畑の準備

できるだけ早く、一〇㎡当たり完熟堆肥三〇kgと石灰一kgを畑全面にばらまき、よく耕しておきます。その後、種まきの一週間前に化成肥料一kgを施用し、二条まきでは一〇〜二〇cmの畝立てをしておきます。

### ④種まき

一〇㎡当たり毛付き種子では二〇〜二五ml、毛無し種子では一五〜二〇ml準備します。毛付き種子では、まく前に手でよくもんで毛を落としておきます。

まき溝に十分かん水してから、準備した種子を二条にまきます。覆土は種子が隠れる程度に行い、厚すぎないように注意します。覆土後は、乾燥防止と雨にたたかれるのを防ぐため、焼きもみ殻や切りわらを散布すると良いでしょう。

### ⑤手入れ

本葉二〜三枚のころより二〜三回に分けて間引きを行います。最後の間引きは、本葉五〜六枚のころに行い、株間を一五cmとします。

間引き後、畝間に化成肥料を五〇〇g程度追肥し、中耕と根の肩が隠れる程度に土寄せをします。

### ⑥収穫

三寸系は発芽後七〇〜八〇日、五寸系は一〇〇日、小型ニンジンでは六〇〜七〇日程度で収穫できます。根が肥大したのから順次抜き取って収穫します。収穫は、鮮度を守るため早朝または夕方に行うと良いでしょう。

### 栽培時期

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	適する品種
春まきニンジン			○				■			MS三寸、砂村三寸